

科学的知見の創出に資する可視化 (3) : 新しい文理融合研究を創出する可視化

じんけん 2019
人文科学とコンピュータシンポジウム
情報処理学会
人文科学とコンピュータ研究会
主催

日時 令和元年 12月15日(日) 13:00～16:00

会場 立命館大学・大阪いばらきキャンパス
いばらきフューチャープラザ/B棟
1階カンファレンスホール
大阪府茨木市岩倉町 2-150

主催 日本学術会議 総合工学委員会
科学的知見の創出に資する可視化分科会

共催 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会、可視化情報学会、
日本シミュレーション学会、画像電子学会、
情報処理学会コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会、
芸術科学会、画像情報教育振興協会 (CG-ARTS)



JR「茨木駅」東口より徒歩約5分

入場無料、事前申し込み不要

当日はお名刺をご用意ください

現代の科学研究においては、人文科学と自然科学の別なく、情報科学の恩恵を利用せざるを得ない。例えば、人文科学で解析対象とする新たな種類のデータ、例えばデジタル保存された文化財データや社会状況を分析するための SNS のテキストデータの解析は、高性能計算機を用いて行なわれ、インターネットもフル活用されている。これは、単に便利だからそうするのではない。解析対象となるデータが計算機で解析せざるを得ない大規模かつ多様・複雑なものとなることが多いからである。このような時代においては、情報科学を中核とした、あらたな文理融合研究の創出が必須である。本シンポジウムでは、情報科学の中でも「可視化」に焦点をあて、新しい文理融合研究を創出する可視化を探りたい。

プログラム

- 13:00 開会挨拶 小山田 耕二 (日本学術会議第三部会員, 京都大学学術情報メディアセンター教授)
鹿内 菜穂 (情報処理学会人文社会とコンピュータ研究会主査, 亜細亜大学経営学部講師)
- 13:05 趣旨説明 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部教授)
- 13:15 **講演 1 「伝統芸能の技法とマンガ・アニメのこれから」**
司会 小山田 耕二 (日本学術会議第三部会員, 京都大学学術情報メディアセンター教授)
講演 應矢 泰紀 (京都国際マンガミュージアム研究員)
- 13:50 **講演 2 「美術史と AI-仏像の顔の様式分析をめざして」**
司会 藤代 一成 (日本学術会議連携会員, 慶應義塾大学理工学部教授)
講演 藤岡 穰 (大阪大学大学院文学研究科教授)
- 14:25 **講演 3 「人文学における地理空間情報の可視化」**
司会 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部教授)
講演 矢野 桂司 (日本学術会議連携会員, 立命館大学文学部教授)
- 15:10 **パネル討論 「新しい文理融合研究を創出する可視化とは？」**
ファシリテータ 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部教授)
討論者 前半の部の講演者・司会者・その他分科会メンバ

お問い合わせ先

立命館大学情報理工学部 田中覚 (stanaka[at]is.ritsume.ac.jp)

慶應義塾大学理工学部 藤代一成 (ifujishiro[at]keio.jp)

※ [at] は @ に置き換えて下さい